

労働条件を上げ
魅力ある航空に！

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1052 (39-1) 2024年9月10日

航空連第39回定期総会

持続的発展に労働条件引き上げを

— 今後1年間の運動方針を決定 —



開会あいさつする赤坂議長。

航空連は9月8日、第39回定期総会をハイブリット（対面参加+オンライン）で開催し、この1年間の活動総括と今後1年間の運動方針、第38期決算と第39期予算、そして当面する24年末闘争の日程について、全会一致で決定しました。

総会では、2年連続でベースアップを勝ち取ったことや、1月に発生した航空機衝突事故を教訓にした編成数の改善、施設の改善や熱中症対策など職場要求の前進が報告されました。JGS労組からは「連続夜勤導入提案を撤回させたのは、JALグループ内各労組との連携協力が大きな力になった」と、闘いの教訓が報告されました。

一方、解消されない人員不足の現状や、外国人労働者をめぐる状況など、今後取り組むべき課題についても多くの発言がありました。また、解雇争議を闘うJCUからは、客室乗務員の休憩問題をめぐるANAの不誠実な対応が、東京都労働委員会によって不当労働行為と認定されたことが報告されました。

以上